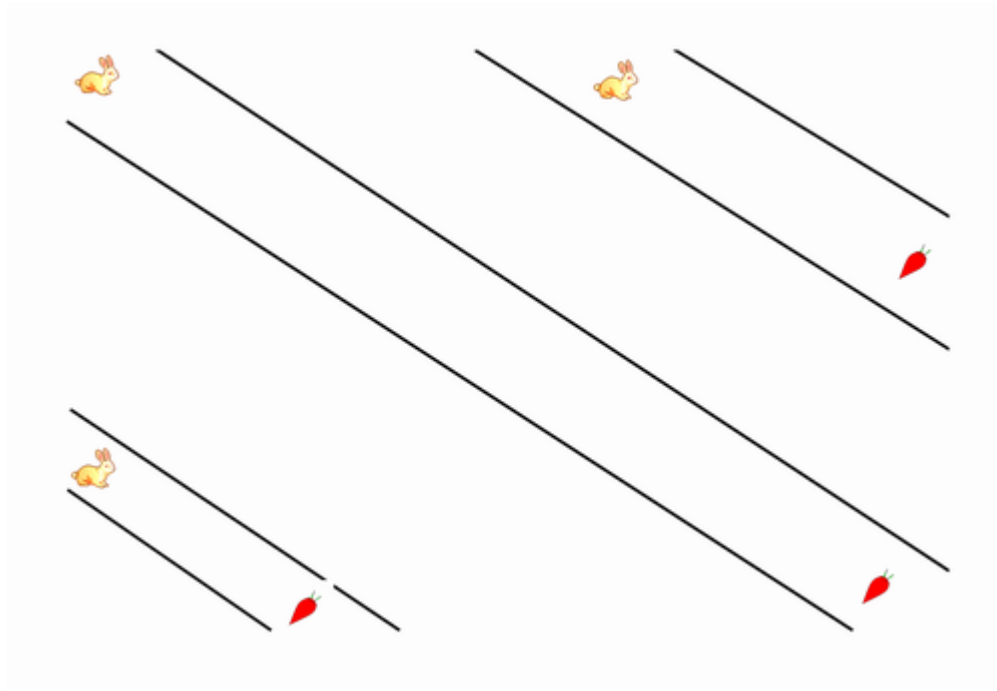


3. 書字の状況

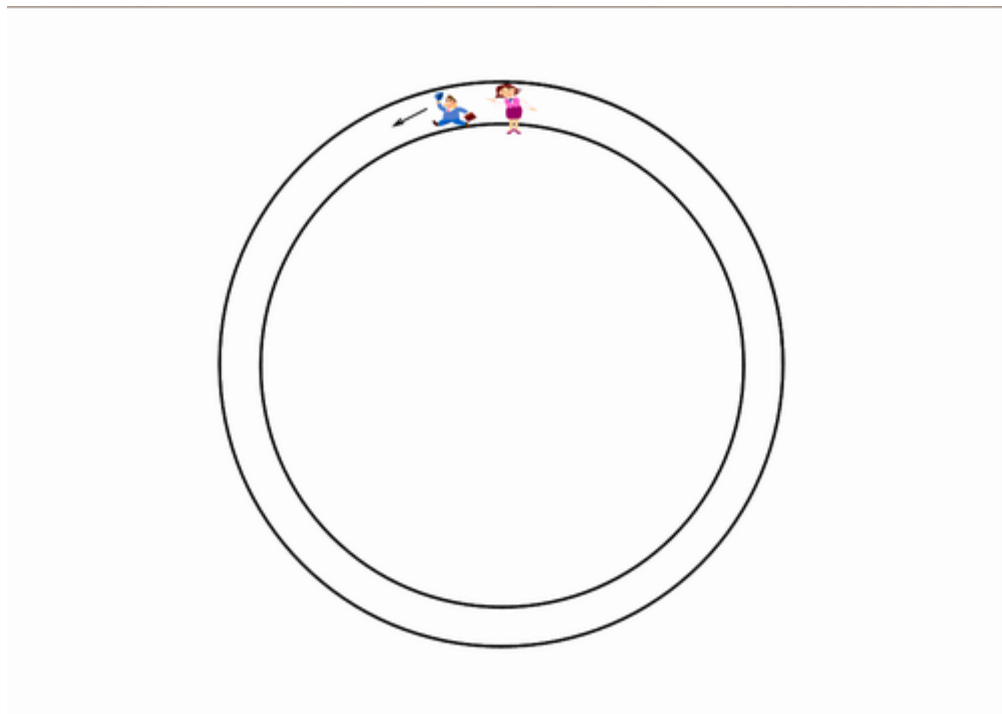
①書くという行為そのものに問題がある場合
手指の巧緻性

②字をうまく覚えられていない場合

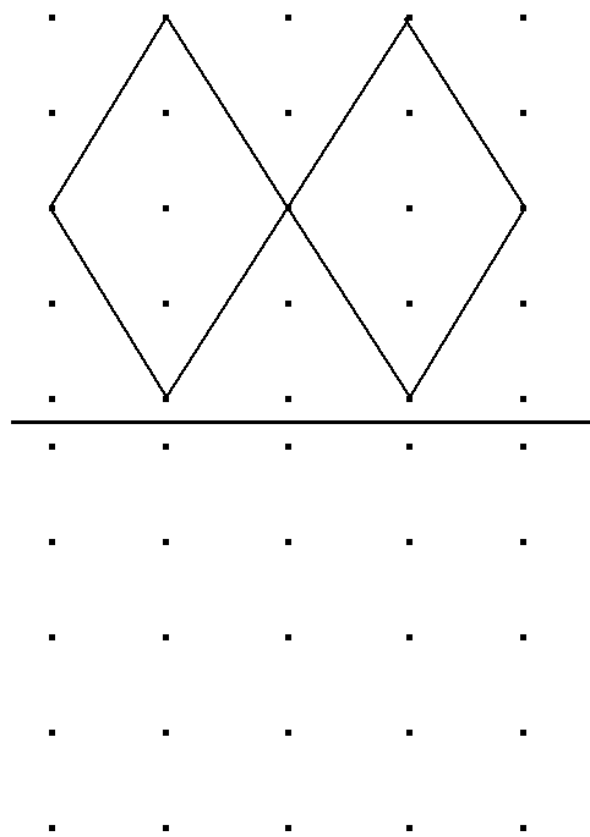
手の巧緻性の指導 1



手の巧緻性の指導 2



手の巧緻性の指導 3



②字をうまく覚えられていない場合の指導 1

つぎのなかから「し」のひらがをさがしましょう。

あ そ と み そ さ
た す せ
つ し む な の
き め ふ せ
や す む へ
く や う

②字をうまく覚えられていない場合の指導 2

だれかいたずらをして、右のひらがなをかきかえた人がいます。
かきかえた字をさがしてください。

あっているひらがな

う	か	お	へ
ち	え	さ	ほ
つ	た	け	む
ひ	ふ	め	な

ちがっているひらがな

う	か	お	ふ
ち	え	き	ほ
し	た	け	む
ひ	ふ	ぬ	な

3. 数の状況

「数の概念」

数には「序数性」と「基数性」という二つの特徴

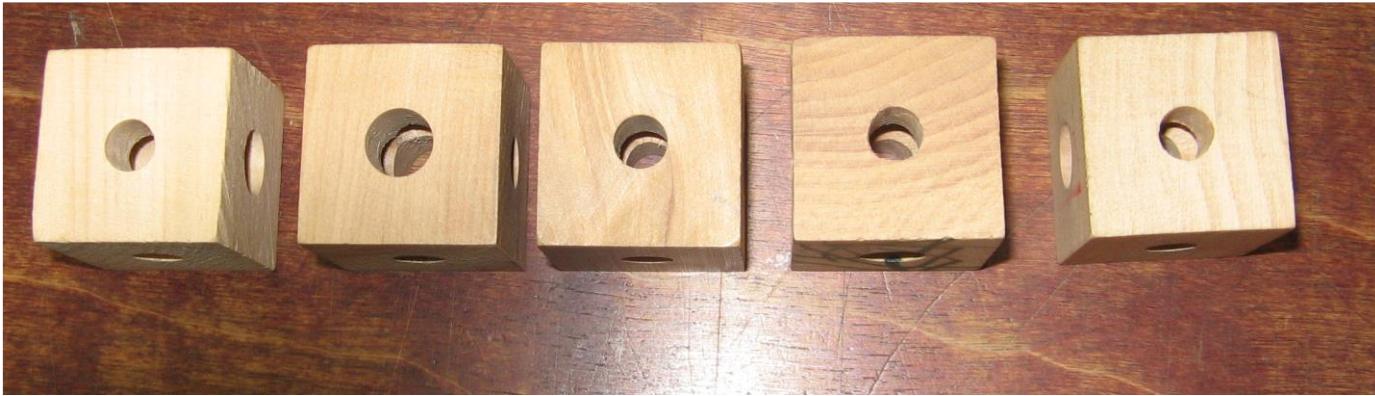
序数性とは数の順番のこと

「序数性」とは順番を現す

「基数性」とは量的な部分を表している

通常の子どもは「序数性」の獲得に続いて後を追うように「基数性」の獲得もできる

序数性の指導
具体物を数える



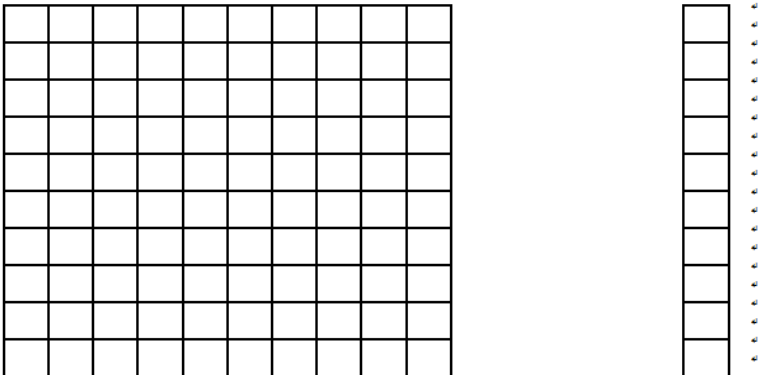
10の位取りの指導1

今お話ししていますお子さんの場合は、繰り上がり繰り下がりの計算をより確実にするためには次の指導をしていきます。

つぎのすうじの大きさだけ色をぬりましょう。□

10が () □

1が () □



すうじは () □

The diagram consists of two main parts. On the left is a 10x10 grid of squares. On the right is a vertical column of 10 rectangular boxes, with a series of small dots to the right of each box, representing a number line or a sequence of units. Below the grid and column is a horizontal line with a small square at the end, and the text 'すうじは () □' is written below it.

例えば、3歳ぐらいになるとままごとを行うが、そこでの物のやりとりを通して数の概念を獲得してくる

軽度発達障がい児は「序数性」は獲得していても「基数性」は獲得していない子どもが多い

生活の中で数の概念を獲得すると「数と実際の数の移動」が結びついた形で獲得できる

文章題にも強くなる

V. 子どもの力を引き出すには

子どもさんがもし発達障がいを疑うような状態なら

いろいろな機関へ相談することが必要

その中で子どもさんの状態にあったところを選ぶことが必要

VI. その後の課題

小学校入学がゴールではありません

本当のゴールは社会的自立です

社会に出て立ち塞がる壁の一つ

上司や同僚とのコミュニケーションの問題

原因の一つは幼児期からの仲間作りの練習がうまくできていないことによるもの

こういった子どもさんたちのもつ根本的問題

幼児期からの取り組みが必要

引きこもりの30%もの人が発達障がい

1 1月22日のNHKの「Nらじ」での情報

引きこもりの中の30%もの人が発達障がいをかかえているという情報がありました

残念ながら、発達障がいであることが引きこもりの要因であることが多いと考えられます。

実際、何名かの方の情報をもっています